

ほ におい 穂 香 タイムス <12月号>

12月1日 <安藤石典の陳情>

終戦当時の根室町長であった安藤石典（あんどう いしすけ）は、戦後の混乱期にいち早く連合軍の最高司令官であったマッカーサー元帥に直訴しました。

その日が、1945年（昭和20年）12月1日なのです。

「日本固有の領土である国後島、択捉島、色丹島及び歯舞群島は父祖伝来の地であり、連合国の管理の下、島民が安心して生活できるようにしてほしい」と陳情し、この行動が現在まで続く北方領土返還運動の礎となっています。 ※ 「北方領土今日は何の日？」のページも見て下さい。



12月1日、今年も四島返還のイルミネーションを設置しました。

ニ・ホ・ロでは、平成16年から毎年、北方領土の早期返還を願って「四島返還」のアピールイルミネーションを設置しています。

毎年早期返還を願う一文字を入れていますが、今年は「絆」としました。

今年は、家族の絆、地域の絆、そして国民の絆が改めて問われる年となりました。

北方領土返還要求運動も国民全体の絆を強く持って、一丸となって邁進することを願い

「絆」としました。また、北方四島交流などを通じ、四島住民との絆がさらに深まり、返還に向けた環境づくりや動きが進んでいくことを願います。

北方四島交流センター

ニ・ホ・ロの最近の出来事

「高橋専門員が中央アピール行動に参加してきました。」

12月1日、北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会が主催する、東京銀座を行進する北方領土返還要求中央アピール行動に「ニ・ホ・ロ」の高橋専門員も元島民として参加してきました。約7℃の冷え込みの厳しい気象状況の中、根室管内の元島民をはじめ、北海道根室管内の関係者や国会議員、北方領土問題対策協会の全国会議に参加された47都道府県の役員が初めて参加されるなど、約500人が2.1kmを熱く行進しました。



また、12月1日から3日まで、東京の新宿駅西口で行われた北方領土街頭啓発では、北方領土の歴史的経緯や北方領土返還運動の変遷などをパネルで紹介するとともに、「なるほど! なっとく北方領土クイズ」で北方領土に対する理解を深めてもらうためにPRを行い、「ニ・ホ・ロ」からも職員が派遣され、パネルの説明やクイズ実施などに奔走しました。

これらの様子は、近く映像や写真で紹介する予定です。



「平成23年度 初級ロシア語講座」8名が修了証を受けました。



11月5日から始まった本年度の「初級ロシア語講座」が11月27日で8回の講義が終了し、最終日に出席した8名に対し、修了証が手渡されました。

これまでの8回で、基本的な単語や挨拶、慣用句、文法などについて学びました。最終日には、講師の作成した厳しい試験もありましたが全員クリアしました。

継続を希望する受講者も多く、現在、次回の講座についての検討を行っており、開催が決まり次第、お知らせします。

少しでも会話ができると、交流の幅が大きく広がります。次の機会に是非受講されてみてはいかがでしょうか。



北方領土返還標語の折り鶴が届けられました。



釧路市在住の伊勢さんより、北方領土返還の標語の短冊が付いた折り鶴が二・ホ・ロに届けられました。来館者の啓発用ということで、毎年届けていただいております。いつもありがとうございます。

ビザなし交流の季節には、四島からの訪問団用にも折り鶴を送ってくださっています。

来館者ニュース

UIゼンセン同盟静岡県支部の皆様（23.11.26）



北方領土の視察で、静岡県からUIゼンセン同盟静岡県支部の皆さんが来館されました。元島民の講話を希望され、この日は、歯舞群島志発島出身の木村芳勝さんから、昔の島の様子などを聞き、今後の返還運動についての質問などやり取りがなされました。また、館内を視察され、北方領土に関する変遷やロシア文化ルームでは、ロシアの音楽や文化などの説明を興味深く聞いていました。根室の寒さに驚きながらも、翌日の納沙布岬視察を経て、次の予定地に向かわれました。

白糠町「目で見る北方領土」視察団の皆様（23.12.8）



（社）北方領土復帰期成同盟釧路地方支部・白糠町が主催する「目で見る北方領土」視察研修事業で、白糠町より5名が来館されました。

2年前にも視察で来館された方もおりましたが、前回悪天候で望むことのできなかった国後島を見ることができたこともあり、満足の行く視察になったようです。

また、今回は、是非白糠の子供たちを連れてきたいとの感想を述べておられました。

北方領土隣接地域修学旅行モニターツアーの皆様（23.12.8～10）



北方領土隣接地域への修学旅行誘致を目的としたモニターツアーで、旅行会社の修学旅行を担当される12名の皆様が12月8日に来館されました。

このツアーでは、根室管内の観光施設や体験型施設等を訪問していただき、北方領土隣接地域全体を理解していただきながら、北方領土学習を含めた修学旅行誘致につなげていくことを狙いとしているということです。



二・ホ・ロでは、北方領土返還要求運動原点の地として元島民の講話や北方領土をめぐる歴史的な資料や返還運動の経緯を実際に目で見たり、耳で聞くことが可能であり、参加された担当者の方々も真剣な面持ちで、択捉島出身の岩田宏一さんの講話や説明員の館内説明に耳を傾けていました。

12月10日には、首都圏の中学校・高等学校・大学の関係者23名も第2陣として来館されました。

この事業を通じて多くの学校がこの地域に来てくれることを期待したいところです。

北方少年少女塾

12月9日の根室市立華岬小学校で、本年度の北方少年少女塾は終了となりました。

今年、根室管内の小中学校30校、延べ1000人を越える児童生徒の皆さんに来館いただきました。滞在時間や説明時間の関係で十分な説明ができない学校もあったと思いますが、「二・ホ・ロ」は土曜日、日曜日でも開館しており、説明員も常駐していますので、今度はご家族でご来館いただきたいと思います。《11月15日 根室市立海星小学校》 《11月17日 羅臼町立春松小学校》
《11月25日 標津町立川北中学校》 《12月 9日 根室市立華岬小学校》

【 二・ホ・ロでの学習風景 】



■最終日となった12月9日には、華岬小学校の文化祭で行なわれた創作劇「ふるさと四島を追われて」を収録したDVDを鑑賞しましたが、素晴らしい内容に職員一同感動しました。是非多くの人に見ていただきたいと思います。

☆☆☆☆☆☆【お礼の手紙が届きました。(中標津丸山小学校)】☆☆☆☆☆☆

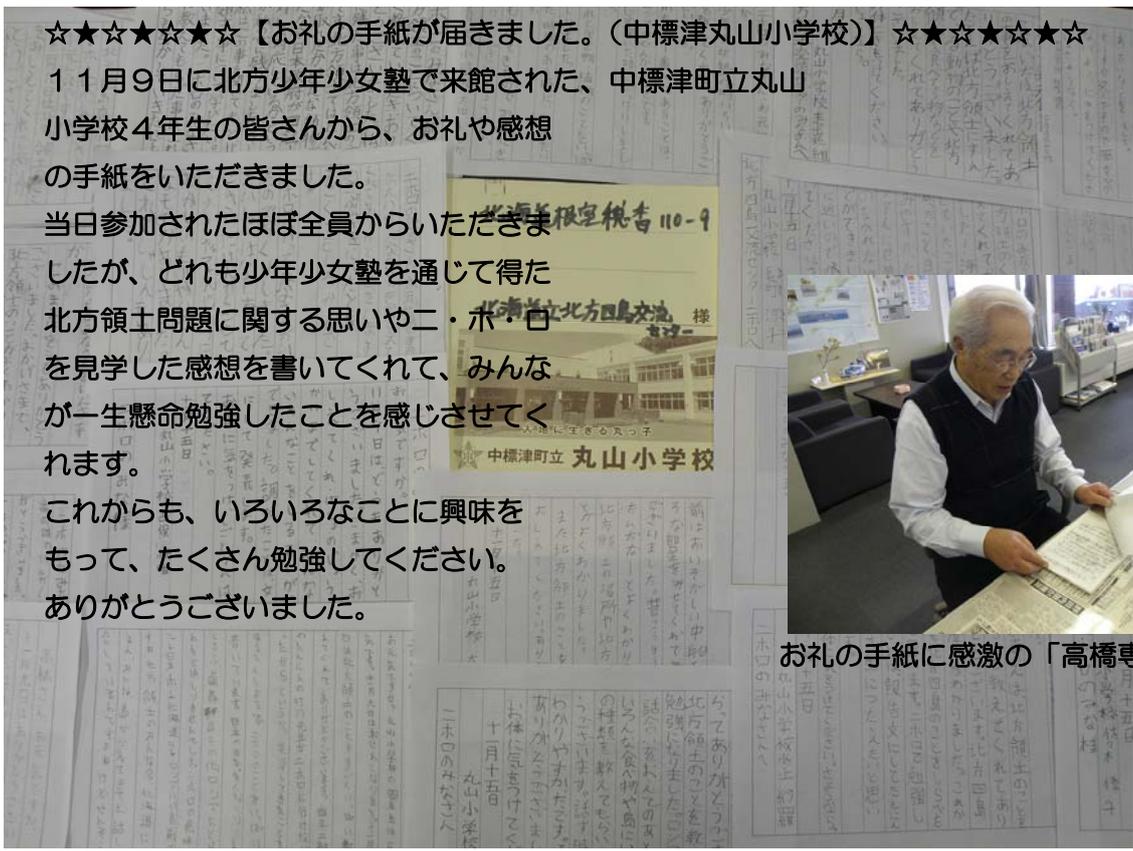
11月9日に北方少年少女塾で来館された、中標津町立丸山小学校4年生の皆さんから、お礼や感想の手紙をいただきました。

当日参加されたほぼ全員からいただきましたが、どれも少年少女塾を通じて得た北方領土問題に関する思いや二・ホ・ロを見学した感想を書いてくれて、みんなが一生懸命勉強したことを感じさせてくれます。

これからも、いろいろなことに興味をもって、たくさん勉強してください。ありがとうございました。



お礼の手紙に感激の「高橋専門員」





■ 年末年始の休館のお知らせ

12月31日～1月5日まで休館となります。ご了承願います。■

■ 11月から4月まで、「二・ホ・ロ」は毎週月曜日が休館です。■

ことし1年「ニ・ホ・ロ」をご利用いただきありがとうございました。

よいお年をお迎えください。



設置したエサ台に来る「ゴジュウカラ」